



2022 年 7 月 20 日

環境省「令和 4 年度地域における E S G 金融促進事業委託業務」の採択について

千葉銀行（頭取 米本 努）は、環境省が実施する「令和 4 年度地域における E S G 金融促進事業委託業務」の支援先金融機関として、昨年引き続き 2 年連続で採択されました。当行は、『S A F※のサプライチェーン構築を通じた県内産業の活性化』を本事業で取り組みます。

当行が地盤とする千葉県は、日本を代表する国際空港として多くの方が利用する成田国際空港を有しており、周辺には航空関連の事業者が多数存在するなど、県内の経済活動の中心として重要な役割を担っています。

本事業では、航空分野の脱炭素ソリューションの一つとして注目されている S A F に焦点を当て、原料となる廃油等の回収から S A F の精製、最終的な利用までを県内事業者が中心となってサプライチェーンの構築を目指し、県内産業の活性化に向けた研究を実施してまいります。また、本事業での各ステークホルダーとの連携を通じて、地域の E S G 推進に貢献するサービスやファイナンス商品等の提供を検討します。

当行は今後もグループ一体となって、お客さまや地域社会のパートナーとして、社会・環境問題の解決に資する取組みを一層推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※ S A F とは、廃油やエタノール等を原料とするバイオ燃料の一種で、持続可能な航空燃料を表す「Sustainable Aviation Fuel」の略。国際航空運送協会（I A T A）は、2050 年までに世界の航空の二酸化炭素排出量を実質ゼロにするため、各国・地域に S A F の開発を支援するよう呼びかけています。

以 上

<本件の取組みに関するゴール>

